

個人質問

しんわかい
津和会

やすだ しょうへい
保田 勝平



問 放課後児童クラブの待機児童数を津市独自の基準で把握しては

現在津市では、希望する放課後児童クラブが定員に達しているため入所できなかった児童について、他に利用可能な放課後児童クラブがあるなど、国の定義に該当しない場合は、待機児童には含めていない。この国の基準では、実態に即した放課後児童クラブの入所における待機児童数の把握ができないため、津市独自の基準を策定してはどうか。

答 津市独自で現実的な状況を把握できるように研究していく

国の基準は、利用申し込みの時点において登録できなかった児童であっても、毎年5月1日時点で他の放課後児童クラブを利用している場合や、通常の交通手段で20分から30分程度で通所可能な他の放課後児童クラブがあるにもかかわらず、保護者の私的な理由により待機している場合は、待機児童に含めていない。

この国の基準は、少し現実と乖離している部分もあるので、津市独自で現実的な状況を把握する基準について研究していく。

その他の質疑・質問

- 令和4年度津市一般会計補正予算（第15号）
- 放課後児童健全育成事業
- 令和5年度津市一般会計予算
- 水泳指導業務委託事業
- 新生児聴覚スクリーニング検査費用助成事業
- 幼児の一時預かりの対応状況は
- 保育士の就労状況は

津市と津私立保育園協議会が共催する「保育士職場復帰セミナー」の様子



個人質問

こうめいとうぎいんだん
公明党議員団

こじま はるみ
小島 晴美



問 積極的な勧奨再開に伴う子宮頸がん予防ワクチン接種を問う

2013年から8年間中断されていた子宮頸がん予防ワクチンの積極的な勧奨が昨年4月から再開された。これに併せて接種機会を逃した人へのキャッチアップ接種、自費で接種した人への費用助成も開始されたが、その進捗状況は。また、本年4月以降は、9価HPVワクチンも対象となるが、有効性や安全性など、対象となる人へ丁寧に説明をし、周知や啓発を行うべきと考えるがどうか。

答 広報津および津市ホームページで啓発を行う

令和4年度の子宮頸がん予防ワクチンキャッチアップ接種事業は、令和4年7月8日から開始し、対象となる9,124人に接種案内を送付した。実績としては、本年2月末現在で880人が接種をされ、接種率としては9.6%である。

令和5年4月から9価HPVワクチンが定期接種の対象となり、キャッチアップ接種についても対象となることから、令和5年3月末には協力医療機関へ案内、周知を行った後、広報津の令和5年4月16日号および津市ホームページで啓発を行うこととしている。

その他の質疑・質問

- 帯状疱疹ワクチン接種について
- 認知症高齢者等への支援策について
- 認知症高齢者等身元確認QRコードシールの導入を
- 認知症高齢者等損害賠償保険の導入を
- 子ども医療費助成制度の所得制限の撤廃について

子宮頸がん予防ワクチン接種方法についてのご案内。詳細は「津市HPVワクチン」と検索を

